

## 第8回市民と議会の意見交換会開催報告

### 1. 日時

令和3年7月18日（日） 午後2時00分 ～ 午後3時15分

### 2. 場所

バンビオ1番館 2階 市民ギャラリー

### 3. 説明員

議長	田村直義		
副議長	福島和人（司会）		
議会運営委員会委員長	上村真造		
議会運営委員会委員	小原明大	進藤裕之	
	三木常照	八木浩	

### 4. 来場者

市民（9人）

報道（0人）

### 5. 出席議員（10人）

西條利洋	寺嶋智美	富田達也
宮小路康文	中小路貴司	白石多津子
小野洋史	綿谷正己	浜野利夫
石井啓子		

### 6. その他の出席者

議会事務局（6人）

### 7. 内容

(1) 開会の挨拶〔田村直義議長〕

(2) 議会改革についての報告

〔上村真造議会運営委員会委員長〕

(3) 議会改革、議会についての参加者からの質問、意見（抜粋）

○市民

【資料について】

意見交換会の資料が元号で書かれているので、西暦も併記してほしい。

【新庁舎の傍聴席】

精華町議会の傍聴席はフラットな感じになっている。長岡京市議会は現在2階から見下ろすかたちだが、新庁舎になった際はフラットな感じになれば、市民と議員と近い感じになりいいと思う。

【議会の広報】

精華町の議会の広報は充実していて、取り上げた案件がその後どうなったかという報告も載っている。また参考に取り入れてもらえたらと思う。

【生理の貧困】

向日市では生理の貧困の取り組みをしている。長岡京市ではどうか。

○上村真造議会運営委員会委員長 新庁舎の議場については、議員席と傍聴席はほぼフラットになる予定である。

広報については議会だより編集委員会で話をして、他市町村を参考に、変えられる部分は変えていきたい。

○福島和人副議長 生理の貧困については、6月議会でも何名かの議員が質問し、長岡京市でも置き方をどうするか議論しながら前向きに進めている。

○市民

【議員定数2人減の理由は】

ホームページを見たら社会的状況を鑑みという説明があったが、なぜ2人減なのかという理由を教えてほしい。

○上村真造議会運営委員会委員長 議員定数については、議会運営委員会の中でもかなり議論してきた。議員定数は、全国平均で人口5万から8万の市町で約20人ということと、質を高めるという意味で1つの常任委員会の構成を7人で3つの常任委員会というかたちがいいため、22人がいいのではないかという意見が多かったと認識している。

○市民

【議員定数削減で質を高めるとは】

質を高めるといふのをもう少し具体的にお聞きしたい。

- 上村真造議会運営委員会委員長 長岡京市として、委員会を中心に議論を進めていくという中で、1つのテーマを取り上げて、1常任委員会7人という形が一番話しやすい、議論しやすい人数とされており、その中でそれぞれが議員としての質も、切磋琢磨しながら、長岡京市のより良い方向性を見つけていくというために、質を高めるといふ意味です。

○市民

【新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の要録について】

5月6日から新型コロナワクチン接種の予約が開始されたが、高齢者を対象としながら予約方法が電話とLINEの限定であり、大変混乱したと聞く。どんな問題があったのか、議会としても検証し、行政側に指摘をすべきだと思う。新型コロナ対策の特別委員会が5月13日に開催されていたのを知り、会議録を要求した。5月25日に情報公開請求をしたが、まだ届いていない。情報公開は通常15日後には出てくるものであり、45日延長しても60日後には出してくれる。委員会要録の作成になぜこれだけ日にちがかかるのか。業者との委託契約内容も情報公開請求した。業者との契約では音声データを渡して70日以内に納品するものとなっている。これでは、情報公開請求しても60日では出るはずがない。

議会はデジタルによる確認ができるというのが多い。本会議は会議録が製本されているが、委員会の要録は議会の図書室にも置いていない。ホームページでも特別委員会については要録を見ることができない。

情報を公開するときに、デジタルだけでなく、アナログの部分も絶対に必要だと思う。その辺の気配りをぜひしてほしい。

- 上村真造議会運営委員会委員長 貴重なご意見をありがとうございます。デジタルばかりでなく、アナログ的な部分も市民の方が望まれていることを含めて検討し、前向きに考えていきたい。

## ○市民

### 【長岡京市の税収について】

議員定数を削減して、例えば、市議会議員の給料を、その浮いた分をそのほかのものに回そうという考えもあると思うが、それは、逆効果だと思う。議員の人数を増やしたほうがいいと私は考えている。

市議会議員の方々はそれぞれ情報発信をどうやって行うかが大事だと思う。フェイスブックなどを見ていると、どこそこに行きましたという話は結構あるが、市議会のほうでこんな話がありましたけど、あなたはどう思いますかという、そういう投げかける情報が全くない。

市議会のほうに傍聴に行って、要約筆記をお願いしようとしても、肝心の議員さんの時間がいつになるかわからない。だから、依頼があったときだけじゃなくて、基本的に全部飽和する文字情報でもいいから、情報発信を、全部の情報を、文字起こしをするということが必要だと思う。

今年の7月から電話リレーサービスというのが始まり、聴覚障がい者にとって長い間電話できなかったのが、文字情報で電話ができるようになった。議会のほうも同じように、先に進める必要があると思う。議会のほうの文字起こしサービスというのものもあるし、そうしたサービスを導入して呼び掛けることも一つの方法ではないかと思う。

リアルタイムで文字情報を起こす、とにかく文字情報で話を伝える、そういう取組は絶対に必要になってくる。

これ大事なことだが、全部の人に完璧に情報を伝えようとしなくてもいいから、例えば50パーセントでもいいから、とにかく情報を早く伝える。どっかから話を投げていく、これはこういうことです、これはこういうことですという。それぞれ皆さんが話をしていくことで、話の糸口を投げていくということだと思うがいかがか。

○**上村真造議会運営委員会委員長** 議員定数に関しては、議員の中でもいろいろな意見があり、議論は重ねてきた。議会運営委員会の中で、そのさまざまな意見を統一することは難しく、会派の意見ということでホームページにも掲載している。

6月議会において、議員定数削減についての請願が提出され採択となった。また、議員定数条例の一部改正についての議員提出議案も提出され、多々議論がある中で、賛成多数で原案通り可決され、2名削減することとなった。

議員の情報発信については、議会として発信していくのではなく、各々の議員が各自で発信していくべきものだと考える。

情報発信の在り方として、音声情報のリアルタイムの文字化については、先進事例も参考にしながら検討していきたい。

○市民

【長岡京市の税収について】

市内から企業が撤退していき、マンションの建設が見受けられる。もっと企業が来てくれたら税収は豊かになるし、市民税も下がるのではないかと。収入が多ければ、市民税は上がる。年金生活者が増えると市民税は高く取れない。長岡京市として庁舎の建設や新しい病院も建ち、費用がかさむ中で、本市は今後人口ばかり増える割には税収が上がらないのではないかとと思うが、どうお考えか。

○上村真造議会運営委員会委員長 企業に関しては、企業誘致も議会として行政に働きかけしている。マンションが建つということは、上に高さが伸びるため固定資産税もそこに入ってくる。個人の市民税を含めて固定資産税も期待するところではある。企業がそれほど税収が減少しているという認識は、リーマンショックとコロナショックによってはあるが、本市としては安定的に入ってきているとみている。

(4) グループトーク

(5) 閉会の挨拶 〔福島和人副議長〕